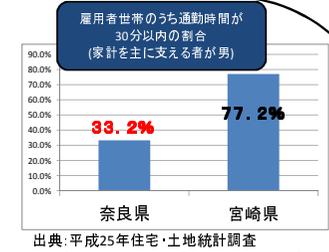
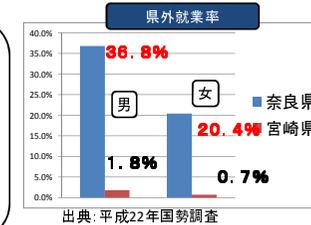


少子化に関する地域格差(合計特殊出生率の高い宮崎県との比較)②

相違の分析～しごとの状況から～

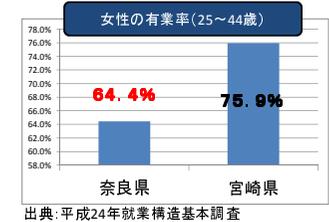
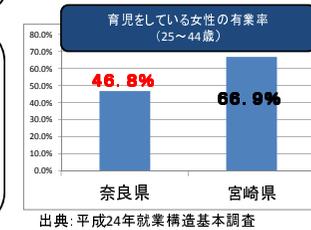
①県外就業と通勤に要する時間に関する状況

- ・**県外就業率が奈良県は格段に高い**
奈良県(男)36.8%(全国1位) 宮崎県(男)1.8%(全国36位)
奈良県(女)20.4%(全国2位) 宮崎県(女)0.7%(全国31位)
- ・**通勤時間が30分以内の割合が奈良県は格段に低い**
奈良県33.2%(全国43位) 宮崎県77.2%(全国1位)



②女性の就業状況※

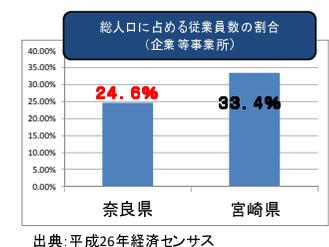
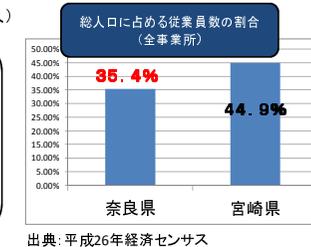
- ・**育児中の女性(25～44歳)の有業率が宮崎県は高い**
奈良県46.8%(全国42位) 宮崎県66.9%(全国8位)
- ・**女性全体(25～44歳)での有業率も宮崎県は高い**
奈良県64.4%(全国47位) 宮崎県75.9%(全国12位)



※宮崎県は一次産業従事者割合が奈良県より高く(宮崎11.4%、奈良2.6%)、全事業所における女性従業員数も奈良県より多い(宮崎県約24万2千人、奈良県約23万6千人)

③県内の事業所の状況

- ・**総人口に占める全事業所における従業員数の割合が宮崎県は奈良県に比べて高い**
全事業所ベース:奈良県35.4% 宮崎県44.9% 【参考】企業等の事業所ベース:奈良県24.6% 宮崎県33.4%
- ・**上記割合が宮崎県の市部では概ね40%を超えるが、奈良県の市部では概ね40%を下回る**
奈良県:12市中3市が40%を超える 宮崎県:9市中7市が40%を超える



○宮崎県と奈良県の違い

- ・**宮崎県では、県内の身近なところに働く場が多いことにより、男女ともに「職住近接」の環境が整っている。特に人口が集中する各市において、ばらつきなく事業所が存在している。**
- ・**上記のことから、宮崎県では、育児をしている女性も身近なところで働くことのできる環境が整っている。**

奈良県の施策の方向性～しごとの状況から～

I 県内就業率を高め、男女ともに身近なところで働くことのできる環境づくり(職住近接の促進)

- ・「産業興し」各分野における効果的な施策の実行
- ・企業誘致の推進を図るための施策の推進
- ・農林業の活性化 など

II 女性が出産後も仕事を持てる環境づくり(共働きの促進)

- ・就業意識の醸成と職業キャリア形成への支援
 - ・女性への就業支援の充実及びしごとの創出
 - ・働きやすい職場づくりとワーク・ライフ・バランスの推進
- ※育児中の女性が仕事を持つ、つまり「共働き」によって、経済的に安心して希望する子どもを持つことができていることを、県全体で広く認識共有していくことが重要